

平成 22 年 4 月 30 日に開催した平成 22 年度第 2 回公立大学法人静岡文化芸術大学経営審議会の結果は、次のとおりである。

1 公立大学法人静岡文化芸術大学中期目標（案）に対する意見について

（1）議事の内容

地方独立行政法人法第 78 条第 3 項に基づき、静岡県知事から中期目標案について当法人に意見照会があったことから、その内容を審議した。

（2）主な発言

- ・管理経費削減の問題は企業でも切実な問題である。
- ・外部研究資金は、金額ではなく件数が数値目標となっているが、法人と県とで十分に検討したうえでの結論であり、問題はない。
- ・実際の運営に当たっては、「教育活動の評価」は内部評価の徹底、「学生への支援」の充実、「高等学校との連携」は東海地方等の重視、「多文化共生の推進」、「教員・事務職員の連携強化」、「教職員にインセンティブが働く仕組みの確立」は具体的な進め方を重要視、「外部研究費」は獲得件数の増加、「広報」の更なる充実等を図っていく。
- ・「就職・進学率 100%を目指す」という数値目標について、法人としてできるのは学生への支援活動であり、「支援活動の充実を図る」という表現が適切ではないか。
- ・中途退学者の実績（10 名程度）は他の私立大学と比べると少なく、経営的にも良い。
- ・独自性を盛り込んだ中期目標（案）となった。今後、中期計画により具現化していくことが重要である。
- ・外部研究資金獲得の項目が「広範な研究の推進」であり、中期計画の作成に当たっての内容がポイントになる。

（3）審議結果

中期目標（案）に対する意見は特になし。

2 スズキ基金静岡文化芸術大学奨学金の創設について（報告）

本学学生の修学環境を整備するため、スズキ㈱からの寄付金を活用した奨学金制度を平成 22 年度から創設する。